

NPO 法人世界レーザー医学連合会について

大城 俊夫

Toshio Ohshiro

NPO 法人世界レーザー医学連合会事務局長

現在レーザー医学に関する学会は、表 2 の主な医・歯・獣医学会を含め世界に 90 以上あります。これらの学会では毎年さまざまな基礎および臨床の研究発表がなされています。このような研究の成果は、学会で発表されてもマスコミを通して正しく世の中に伝えられることは難しい環境にあります。これらの成果を均等に世界の人々に分配し、人類の健康と福祉に貢献するために、2003 年ミュンヘンで世界レーザー医学連合会 (World Federation of Societies for Laser Medicine and Surgery: WFSLMS) の組織委員会が発足し、第 1 回の大会が 2005 年 9 月に、第 16 回国際レーザー医学会 (International Societies for Laser Surgery and Medicine: ISLSM)、第 26 回日本レーザー医学会 (Japan Societies for Laser Surgery and Medicine: JSLSM) と合同で開催されることになりました。これらの学術大会を支援するために、NPO 法人世界レーザー医学連合会 (NPO WFSLMS) が本年 2 月に発足しました。

NPO 法人世界レーザー医学連合会の支援事業

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 世界学術機構支援事業 | 2. レーザー節血運動普及事業 |
| 3. レーザー医学教育・訓練支援事業 | 4. 移動型レーザー治療支援事業 |
| 5. 医療レーザー機器開発支援事業 | 6. 資格認定発行事業 |
| 7. 未来型レーザー治療支援事業 | |

表 1 NPO 法人世界レーザー医学連合会の支援事業

来年 9 月に開催される第 1 回世界レーザー医学連合会 (1st Congress of WFSLMS, 会長渥美和彦) は、4 年に 1 度開催される学術大会であります。世界中から基礎や臨床

の成果が発表されることになりませんが、これらの発表された成果を世界中の人々に均等に分配するためには学術大会の期間だけの支援活動では机上の空論になってしまいます。たとえば、台湾産のおいしいマンゴーがあったとします。このマンゴーを新鮮な形で世界中の人々に食べていただくためには、台湾で取れるマンゴーだけでは足りません。品種改良をし、世界の各地で生産されるようになって初めて世界中の人々に新鮮な形で味わってもらうことができます。これと同様に、世界レーザー医学連合会（WFSLMS）では、世界中から出てきたレーザー医学の成果を、常時工夫と改良を加え世界の人々に分配し利用していただくことに致しました。第一段階として本年 2 月に、NPO 法人世界レーザー医学連合会（NPO WFSLMS）を第 1 回の世界レーザー医学連合会の開催国である日本に発足させ、支援事業を行うことに致しました。

NPO WFSLMS の支援事業には表 1 のように、1.世界学術機構支援事業、2.レーザー節血運動普及事業、3.移動型レーザー治療支援事業、4.レーザー医学教育・訓練支援事業、5.未来型レーザー治療支援事業、6.資格認定発行事業、7.医療レーザー機器開発支援事業の 7 つがあります。1.の事業では、2005 年 9 月の第 1 回世界レーザー医学連合会を支援することになりました。2.の事業は、血液を節約することで献血運動を側面から支援するレーザー節血運動を普及させるものです。金属メスの代わりにレーザーメスを使うと、出血量を 30 分の 1 程度に抑えることができます。出血量が 500ml を超えますと、輸血しなければなりません。金属メスの代わりにレーザーメスを使いますと、17ml の出血しかしませんので、輸血の必要がなくなり、血液感染症に罹患する確率が小さくなります。すなわち、全世界で 10 人に 1 人いると言われる B 型や C 型肝炎、エイズなどの血液感染症が、輸血によって伝播するのを抑えることができるのです。また、出血が 30 分の 1 になったということは、動脈と同時に静脈やリンパ管も閉じられた状態になっているので、癌の転移も 30 分の 1 以下になります。

NPO WFSLMS では、このように手術時の出血を少なくすることで世界の大切な資源である血液を節約する節血運動を始めております。具体的には、節血運動の普及活動に加えて他の支援活動を行うことでレーザー治療を世界中に広めることでもあります。また、節血運動のような試みは、今年やっと始まったばかりであります。われわれは、

NPO WFSLMS の誕生した今年をメディカルレーザー・ネッサンス元年としてこれらの事業を展開させ、レーザー医学を普及させることでレーザー医学の素晴らしい成果を世界の人々に分配すべく、日々努力しております。

既に始まったタイ国に対する支援事業

NPO 法人では、本年 4 月に内科的レーザー治療機器をタイ国へ寄贈しました。この機械を使って、タイ国内ではレーザー節血運動普及事業、レーザー医学教育・訓練支援事業が既に始まっております。これらの支援事業プロジェクトは、50 万円の寄付金から成立しました。皆様にも私どもの支援事業をご理解いただき、ご協力願えれば幸甚です。

国際レーザー医学会 (ISLSM)、世界レーザー治療学会 (WALT)、米国レーザー医学会 (ASLMS)、日本レーザー医学会 (JSLSM)、アジア太平洋レーザー医学会 (APALMS)、欧州レーザー医学会 (EMLA)、南米レーザー医学会 (SASLMS)、中国レーザー医学会 (CSLMS)、国際レーザー歯科学会 (IDLA)、国際レーザー獣医学会 (IVLA)、国際レーザー看護学会 (ISNLA) など

表 2 主なレーザー医・歯・獣医学会